



IPPO IPPO NIPPON プロジェクト

熊本地震支援 開始のお知らせ

～熊本地震からの復興に向けた寄附のお願い～



経済同友会では、東日本大震災からの復興を支援するため、2011年10月に「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」を立ち上げた。5年間にわたった東北支援の総額は21.7億円に達し、被災した専門高校に多くの実習機材を提供した。今年4月に発生した平成28年熊本地震でも、多くの専門高校に被害が生じていることから、新たに熊本支援を開始する。

4月に発生した熊本地震では、最大震度7の強い揺れが短期間に連続して発生しました。熊本工業高校をはじめ多くの専門高校では、校舎の倒壊こそ免れたものの、多数の実習機材が衝突や転倒のために使用不能となっています。3年間という短い高校生活を考えれば、産業人材を志して専門高校に進学した子どもたちのために、実践的な実習授業に取り組める環境を早急に回復しなければなりません。

熊本県は、全国平均を大きく上回る3割強の高校生が専門課程に在籍し、国内の製造業や地域の将来を担う有為の産業人材を多数輩出しており、専門高校の復旧は産業復興にとっても重要な課題です。しかし、現在は仮設住宅の整備や道路などの復旧を優先せざる

を得ない中、政府・県はこうした予算措置を十分に講じることができません。

そのため、IPPO IPPO NIPPON プロジェクトでは、東日本大震災における経験を活かし、熊本県内の専門高校に対する支援を開始しました。2017年4月までの2期にわたり、熊本経済同友会と協力して、真に必要とされる支援をきめ細かく確実にお届けしていきたいと思っております。



窓枠・天井梁が破損した熊本工業高校 建築科実習棟

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 熊本地震支援

皆さまには、活動の趣旨にご賛同いただくとともに、善意のご厚志・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

寄附の募集期間

第1期：2016年9月12日～11月30日

第2期：2017年1月11日～4月28日

※寄附には税制上の優遇措置があります

寄附のお願い

熊本地震からの創造的復興とローカル・アベノミクス

西山忠彦(熊本経済同友会 副代表幹事)

熊本県の経済活動は2008年9月のリーマン・ショック以降、2011年3月の東日本大震災、2012年7月の九州北部豪雨、2014年4月の消費増税などの影響を受けながらも、基本的には穏やかな回復基調にあったと考えられます。そのような中、2016年4月に震度7の前震と本震に襲われました。

国内における過去の地震の経験からは、消費低迷、観光客減少、生産代替や商流変化、さらには人口流出の危機が教訓として示されています。熊本地震で特に留意しなければならないのが、現在は復旧需要に応えようにも人手不足が深刻化している状況ですが、その復旧需要が一巡したときには、人口減少による需要の萎縮が懸念されることです。従来のビジネスモデルの

ままでは震災前の元の状態には戻らないという危機感があります。

このメカニズムを脱却するには個々の企業や産業での対応能力を超えるところがあり、熊本の産業構造そのものを転換する創造的復興が求められています。そこで本年6月に閣議決定された『日本再興戦略2016』のローカル・アベノミクス(特に農林水産業の輸出力強化および観光立国)を、熊本の地で率先して展開できないかと考えています。

そこに、その地域産業の将来を担う人材の育成に向けた専門高校の被災に対し、本プロジェクトで支援をいただくことは何よりありがたく、熊本を挙げて感謝を申し上げたい。



お問い合わせ先

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト運営事務局(経済同友会 事務局内)

Tel : 03-3284-0316 / E-mail : ippo@doyukai.or.jp / Fax : 03-3214-6802

http://www.doyukai.or.jp/ippo/activity_kumamoto/act01.html